

介護付き有料老人
ホーム
つどいの杜



テーマ

利用者様に寄り添う介護

城北高等学校 医療福祉科3年 天本遼太

T様
95歳
女性



ICF表

健康状態

アルツハイマー型認知症

【既往歴】 子宮筋腫・うつ病・肺結核

心身機能・生活機能

- ・身長143cm
- ・体重35.7kg
- ・短期記憶の低下や、数年前の出来事の記憶が抜けたりといった**記憶障害**が見られる
- ・**胃ろう**による**経管栄養**を行っており、経口摂取は水分のみとなっている

活動

【移動】

- ・車椅子を使用しており**自走は可能**だが、基本的には**押してもらっている**。
- ・歩行は**困難**だが、立位は何かにつまんで**少しの時間維持**できる。

参加

- ・通院以外での外出は無く、毎週木曜日の家族との面会を楽しみにしている。

環境因子

- ・長男、長女がそれぞれ面会などに来れる距離で暮らしている。
- ・83歳の時に夫を亡くされている。

個人因子

- ・年齢:95歳 ・性別:女性 ・要介護5
- ・**障害高齢者の日常生活自立度:B2**
- ・**認知症高齢者の日常生活自立度:IIIb**
- ・結婚する前まで学校の先生をされていた
- ・結婚した後は先生を辞め、農業や地域の婦人会の会長をされていた。

アルツハイマー型認知症
認知症高齢者の日常生活自立度IIIb



- ・コミュニケーションは可能
- ・夜間にを中心に異常行動が見られる

95歳
女性
要介護5

胃ろうからの経管栄養で1日
の半分ほどベット上で過ごす。
障害高齢者の日常生活自立度

B2



- ・意欲低下
- ・下肢筋力の低下

- ・車椅子を使用しており自走は可能だが、
基本的には押してもらっている。
- ・歩行は困難だが、立位は何かにつまんで
少しの時間維持できる。

生活課題

自立の生活課題

・意欲の低下

快適の生活課題

・認知機能の低下

安全の生活課題

・移乗・排泄の際の

ふらつき

利用者様の願い

今が幸せなのでこの生活を続けたい。

このままだと...

下肢筋力の維持・向上を行わないと、現在部分介助で行えている排泄・移乗などが全介助になってしまい、障害高齢者の日常生活自立度のランクがCになってしまう事が予想される。

現在は障害高齢者の日常生活自立度b2

屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベット上での生活が主体であるが座位を保つことができる状態。
介助により車椅子に移乗する。

レベルCになると...

1日中ベット上で過ごし、排泄、食事、着替において介護を要する。

その他にも

現在T様は認知症高齢者の日常生活自立度IIIbの状態

III

このままでは...

IV

認知症高齢者の日常生活自立度がIVになってしまう

認知症高齢者の自立度Ⅲ

日常生活に支障を
見られ

疎通の困難さが
見られる

現在部分介助で出来てい
る部分や、自立して行えてい
る事が常に介護されないとい
けなくなってしまうと予想
される。

認知

度Ⅳ

日常生活に支障を

思疎通の困難さが

頻繁に見られ、常に介護必要とする。

長期目標

現在の生活を続ける

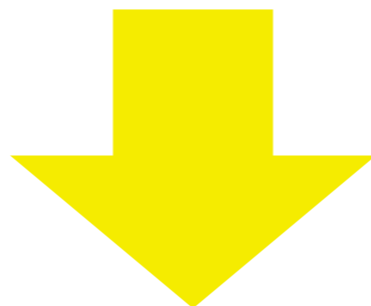
そのために

短期目標

- ・認知症の予防
- ・下肢機能の維持



認知症の予防



適度な運動 十分な食事と睡眠 知的活動



体操



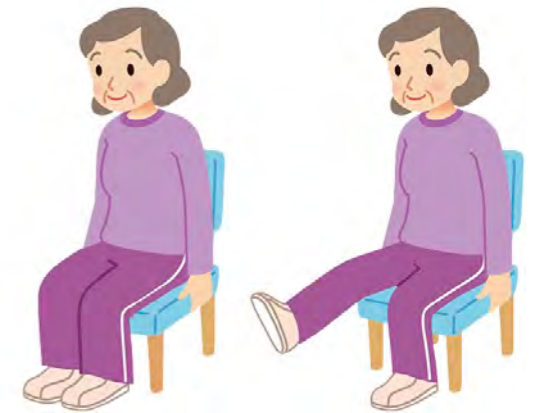
計算ドリル

支援内容

体操

実施時間

- ・レクリエーションの時間



- ・腿上げ
- ・膝の曲げ伸ばし
- ・グーパー体操

効果

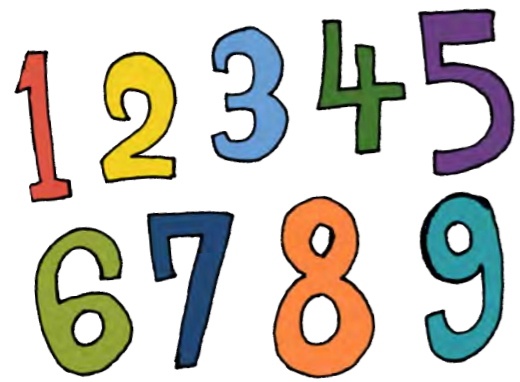
- ・体、脳を動かすことによる脳の刺激
 - 認知症予防
- ・下肢機能の維持・向上
 - 移乗・排泄などを安全に行えるようになる

支援内容

・他の利用者様と一緒に
行う事ができる

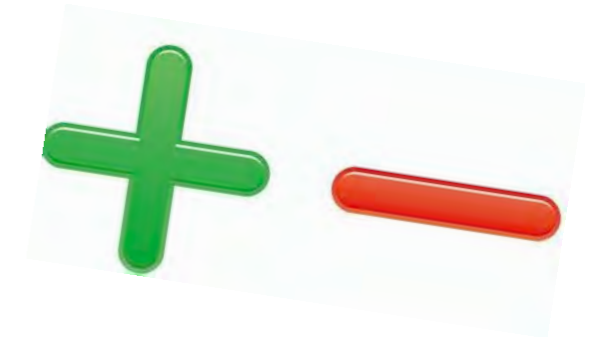
普段部屋からあまり出な
いT様も、近くの利用者の方
とのコミュニケーションを
とる事ができる

支援内容



計算ドリル

実施時間



- ・他の利用者様が昼食を食べている時間

- ・一桁の足し算、引き算
- ・二桁の足し算、引き算

効果

- ・脳を動かすことによる脳への刺激
→認知症予防
- ・ゴールを作る事によって意欲を向上させる

評価

体操

- 移乗では車椅子をベットの横に持っていくと、お一人で車椅子に移乗されていた
- 排泄の際はあまり目立った変化は見られなかった



評価

計算ドリル

- 一桁の足し算、引き算ではあまり詰まることなく解いていた。
- 二桁の足し算、引き算では所々詰まっていたが、間違いは少なかった。



反省

- 正しいケアが本当に出来ていたのか？
- やりたくない事を強制してしまった？
- 介護目標などが具体的ではなく、抽象的な介護になってしまっていた？
- 利用者様の心に寄り添う介護があまりできていなかった。

これから

- コミュニケーション能力などをもっと磨き、利用者様の本当の想いを汲み取り介護に繋げる！
- 知識や技術を更に身につけ、それぞれの利用者様に合った個別的な介護を提供する！

「この人に介護して欲しい」と言われる
ような介護士

ご清聴ありがとうございました。